

市場価値の高い養殖魚に関するシンポジウム 2013
(High Value Aquaculture Finfish Symposium in 2013)

開催のご挨拶

謹啓 時下 皆様にはいよいよ御隆盛のこととお慶び申し上げます。

この度、私共、鹿児島大学水産学部に於きまして「世界養殖学会アジア太平洋支部シンポジウム」を平成 25 年 10 月 15 日（火）から 17 日の 3 日間にわたり鹿児島アリーナを中心に開催する運びとなりました。

本シンポジウムには、アジア太平洋地域における養殖分野の第一線で活躍されます多くの研究者や業界の方々はもちろん、全世界の幅広い関連分野の方々まで含めた約 200 名の参加が見込まれます。

本シンポジウムでは、クロマグロ、ブリ・カンパチ、ウナギなどの現在推進されている養殖の諸問題だけに留まらず、養殖魚販売の世界展開、寿司ネタへの有効活用、健康食としての魚の位置づけなど、専門性に留まらない「学際的コンソーシアムの視点での養殖業のこれから」をテーマに、市場価値の高い養殖魚に関して、養殖業そのものや取り組み展開にまで再考するきっかけとなる事を目指しています。

奇しくも本シンポジウム開催期間中に日本の伝統的食文化に関わる寿司職人の皆さんの「全国寿司連合鹿児島大会」が併設会場にて開催されます。そこで、16 日（水）には、本来の日本寿司の食べ方、養殖魚の寿司ネタへの使い方の実情、あるいは養殖業界からの寿司職人への要望・疑問点など、相互交流を深める正にコンソーシアム的な取り組みとしてのワークショップを計画しております。

つきましては、別紙シンポジウムの趣旨、概要をご参照頂き、ご理解ご賛同の上、ご支援頂きますよう、ここにご案内とお願いを申し上げます。

末筆ながら、皆様のますますのご発展を祈念申し上げます。

平成 25 年 6 月吉日

世界養殖学会アジア太平洋支部シンポジウム委員長

鹿児島大学水産学部 教授 越塩俊介